



HATURATU はつらつ

私の家族は太平洋の小島から、ニュージーランドのオークランドに引っ越してきたばかりなの。この街には白人の人のほかに、東洋系や私たちポリネシア系の子も数多くすんでいるわ。

大好きなママさんが毎日作ってくれる食事は、島伝統の料理。白いご飯とイモが主食。肉や野菜料理もココナツ風味で、まどわすバクバク食べちゃうわ。私の弟たちも食欲いっぱい。大きくなったら、ママみたいな「ふとっちょ美人」になれたらうれしいな!

(写真・文 平早 勉)

元気印 〈あそび〉はじけた夏休み

「元気印のへあそび」ははじける夏休み。夏休み特別期間中、「こどもの城」は毎日元気。はじける子どもたちでにぎわいました。体をおもいっきり動かして楽しむへあそび、考えたり工夫をしたりしなければならぬあそび、仲間と力を合わせて楽しむへあそびなど、たくさんのおもしろいあそびが待っています。ワークショップも「手作り楽器」「造形教室」などのほかに、青山劇場、青山円形劇場に出演したアーティストによるダンス、和太鼓のワークショップ、十回目を迎えた「キンダー・フィルム・フェスティバル」など、もりだくさんのプログラムが行われました。



夏休み造形教室「クルリタウン」



つくって遊ぼう親子工房



「夏休み造形教室」「手作り楽器のワークショップ」「映像・科学ワークショップ」をはじめ、「作って遊ぶ」プログラムもいっぱいありました。パソコンルームでは、自分で設計した紙飛行機を作って、飛ばしました。さまざまに工夫をしたり、手を加えたり、調整したり—大切に持ち帰りました。



手作り楽器のワークショップ「口琴(こうきん)」



ペーパープレーンファクトリー



ウォーター・アドベンチャー2002～西部の決闘



ざっくざっくパラダイス

なかまと遊ぶ

夏休み恒例の「ウォーター・アドベンチャー」。今年は「西部の決闘」編。全身びしょ濡れになって水遊び。そして、ボランティアを体験的に学んでいる高校生のグループリーダーが企画運営した「ざっくざっくパラダイス」。「こどもの城」のスタッフやたくさん遊びました。

遊びのなかで、たくさんの人と出会ったり、いろいろな「もの・こと」を発見したり—たくさんの方が遊びに来ました。

出会いと発見



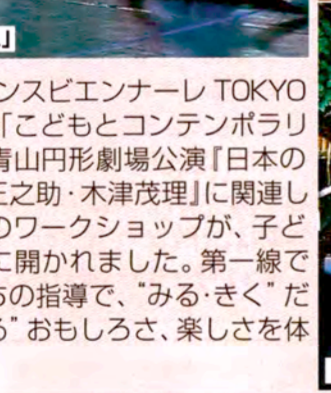
「こどもとコンテンポラリーダンス」



「林英哲ワークショップ」

青山劇場公演「ダンスピエンナーレ TOKYO 2002」に関連して「こどもとコンテンポラリーダンス」(写真上)、青山円形劇場公演「日本の太鼓 林英哲・大倉正之助・木津茂理」に関連して「和太鼓」(写真右)のワークショップが、子どもたちなどを対象に開かれました。第一線で活躍している人たちの指導で、「みる・きく」だけでなく、「表現する」おもしろさ、楽しさを体験しました。

アートと遊ぶ



「大倉正之助ワークショップ」



「木津茂理ワークショップ」



世界の楽器にチャレンジしよう～面白楽器商店街～



動いてみるおもちゃの展示



人形劇カーニバル



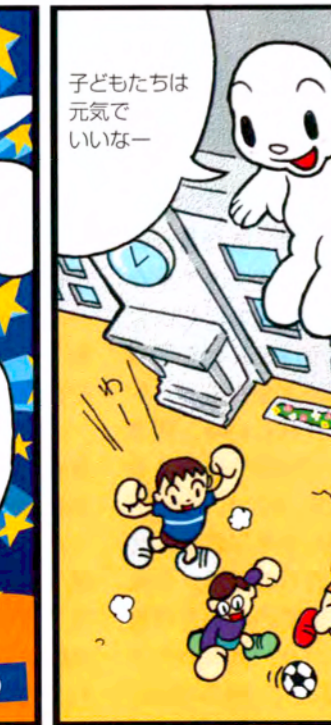
30度を超える暑さもなんのその。はじける元気でスポーツ遊び。アメリカ生まれの「フライングディスク」など、世界のいろいろなスポーツにチャレンジ。フリークライミングも人気のまどでした。

汗はすばらしい友だち～世界スポーツめぐり

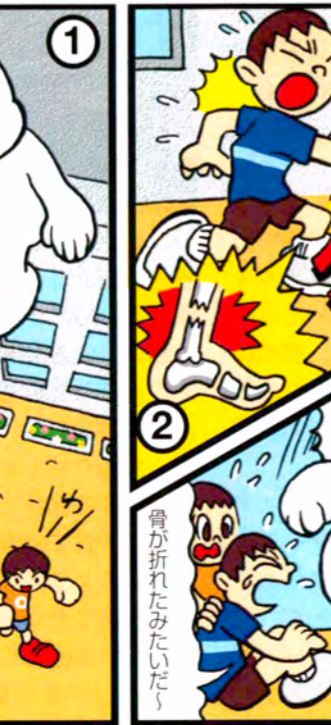
体を動かして遊ぶ



スキム Vol.1 骨ケアしよう



子どもたちは元気でいいな—



② どうしたの—!?
③ 骨が折れたみたいだ



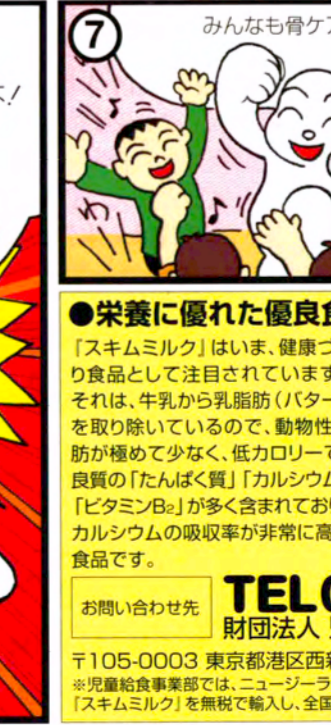
④ じゃあ、どうすればいいの!!



⑥ それなら大丈夫! 「スキムミルク」があるよ!



骨をつくるカルシウムが牛乳より多くて、しかも低脂肪の健康食品なんだ!



⑦ みんなも骨ケアしよう!!

●栄養に優れた優良食品「スキムミルク」

「スキムミルク」はいま、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₆」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品です。

スキムミルク	286 mg	スキムミルク	0.62 mg
スキムミルク	8.1 g	スキムミルク	0.3 mg
スキムミルク	5.8 g	スキムミルク	0.3 mg
スキムミルク	0.2 g	スキムミルク	0.3 mg

たんぱく質 脂肪 カルシウム ビタミンB₆

TEL03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216
*児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

第10回キッズ・フィルム・フェスティバル “子ども”のための映画祭終わる

『パコダテ人』『アヒル救出大作戦』を
グランプリ(ドラマ部門)に選出

10回目を迎えた「キッズ・フィルム・フェスティバル」が、8月2～10日に「こどもの城」で開かれました。会場は、A・Bスタジオと青山山形劇場。子ども審査員による審査のほか、ジュニア・ジャーナリスト(ニュースキャスター・新聞記者)の取材・報道など、さまざまな形で子どもたちが参加して映画祭を運営しました。ジュニア・ジャーナリストが取材・編集したビデオ『映画でいきましょー』(13分)、『Happy Festival Report』(9分)・新聞『We ♥ Movies』は夏休み特別期間中、館内で放送・配付されました。

一般公募アニメ部門グランプリは小学生(10歳)の作品

「キッズ・フィルム・フェスティバル」では、さまざまな国の映画が上映されます。今回も、ドラマ部門4作品、アニメーション部門5作品、今回初めて行われた一般公募アニメ部門10作品のほか、世界の人気アニメの特別上映が行われました。

子ども審査員による審査会は、8月8日に開かれ、小3～6の小学生10人が、1時間30分にわたり、それぞれの意見を出し合い真剣に議論を重ねました。結果は、最終日に発表されました。

アニメーション部門は「ウォー・ゲーム」(ディブ・アンウィン監督/イギリス)、一般公募アニメ部門「わすれんぼへび フィック」(中根裕美監督)が全員一致で選出されました。

ドラマ部門は、審査員の意見が二つに分かれました。それぞれが自分の意見を

しっかりと主張しあい、何回か採決を繰り返しましたが1作品に絞り込むことができず、2作品がグランプリになりました。選出されたのは、『パコダテ人』



審査結果を発表する子ども審査員(白枠内)。グランプリ発表後、子ども審査員も声優体験(吹き替え)にチャレンジしました。

(前田哲監督/日本)と「アヒル救出大作戦」(ディ・ドリュエ監督/オーストラリア)の2作品。

「わすれんぼへび フィック」はクリエイティブアニメーション。10歳の小学生、中根さんが作りました。「へびのフィックは、とっても忘れんぼ。山に行けば、お弁当や本を忘れて、家にとりにもどります。でかけるたびに、なにかを忘れます。そこでフィックは考えました。忘れ物をしないために、なんと家を持ち運ぶことにしました。さて、その結果は? 10歳の女の子が作った、のほほんとした作品です」(『We ♥ Movies』から)。

背景画は画用紙のようなものに描かれていて、キャラクターは透明な“セル”に描かれています。セルには輪郭の線が描かれ、裏側から色を塗って着色してあ



セル画の背景画やセル画を位置がずれないように特別な金具でとめ、セル画だけとりかえて撮影します。1秒間で12枚の絵を撮影する、というディブ監督の話に子どもたちは驚いたようでした。

「アニメができるまで」をセル画など見せながら説明

海外ゲストを招いて行ったワークショップは、イギリスのアニメーション監督でプロデューサーのディブ・アンウィンさん。グランプリを獲得した「ウォー・ゲーム」の監督。

ディブ監督のアニメ作りの方法を、撮影に使った背景画やセル画などを使って、分かりやすくいねいに説明しました。絵本を題材にした作品が多く、まず原作となる絵本探しから始まります。そして台本を作り、セルフを録音。

次にストーリーボード(映画の設計図にあたるもの。ラフな絵でどのような画面にすれば分かるようにしたもの。絵コンテ)を作り、それをもとに作画していきます。

背景画は画用紙のようなものに描かれていて、キャラクターは透明な“セル”に描かれています。セルには輪郭の線が描かれ、裏側から色を塗って着色してあ

りました。背景画とセル画を位置がずれないように特別な金具でとめ、セル画だけとりかえて撮影します。1秒間で12枚の絵を撮影する、というディブ監督の話に子どもたちは驚いたようでした。

「セルフの録音が終わり、画面ができました。でも、まだ完成ではない。なにが必要だろうか?」とディブ監督。子どもたちは考えます。なんだろう……「音!」「そう、音楽や効果音を作ります」。自身の作品のために作曲された音楽の譜面を見せるだけでなく、効果音については、足音をたてて台の上を歩いてみたり、具体的に私たちの周囲にはさまざまな音があることを気づかせてくれました。

効果音作りの例として、雪の上を歩くときの音を作りだす方法を紹介します。ボールに入れたシリアルフードを、手でつかん

では離すという動作を繰り返すと、「ウォー・ゲーム」の雪の上を歩く場面の音が聞こえてきて、子どもたちは感動した様子でした。

「(監督をめぐず、子どもたちへのメッセージとして)働く覚悟が必要。責任は重大だし……情熱だけではやっていけないくらい、大変な仕事です。いろいろな作品をたくさん見て、いっぱい勉強してください。優しげなひとみの奥には、監督としてのプライドがぎっしりつまっていました」(『We ♥ Movies』「ディブ監督に聞く」から)。

声優を体験。たくさんの観客の前で吹き替え上演

海外の作品は、“オーバー・ボイス方式”で上映されています。セルフの部分は外国語の音声小さくして、日本語のセルフをライブで声優が吹き替えます。あまり例がない上映方法ですが、字幕ではありません。画面に集中して見ることができると好評です。

このオーバー・ボイスを体験する「声優体験ワークショップ」も、8月3～6日の4日間行われました。指導にあたったのは、声優の上田悦子さん。「ワニのルーシー」という短編アニメーションの題材に吹き替えを練習、声優の仕事にチャレンジしました。

約2時間の練習ののち、たくさんの観客が見守る上映会場で発表(上映)緊張して、間違えることもありましたが、元気な声で吹き替えをして、温かい拍手を受けていました。

11月3日に子育てママの悠遊タイム

お母さん→リフレッシュ、お父さん→親子遊び
「クリスマスボールのオーナメント」をつくらう

お母さん同士で、生活を楽しむ“ゆとり”をゆつくりとした時間のなかで過ごしてもらおうとともに、お父さんには親子遊びを楽しんでもらおうと「子育てママの悠遊タイム～クリスマスボールのオーナメントをつくらう」が、11月3日(午前10～12時)に「こどもの城」で開かれます。対象は、3歳以下の子どもを持つ家族。

子育てに追われる多忙な生活を送っていても、ちょっとしたゆとりを持つことで、気分をリフレッシュすることが出来ます。今回は、パッケージデザイナーの宮寺美奈子さんを講師に招いて、ラッピングペーパーやリボンなどを使って「クリスマスボール」のオーナメント作りをします。

お母さんが「クリスマスボール」を作っている間、子どもはお父さんと一緒に親子遊び。こどもの城のスタッフが、さまざまなプログラムを

紹介。お父さんと子どものスキンシップを深めます。

定員は25家族。9月27日午前10時から先着順に電話で受け付けします。参加費は3,000円(大人2人分の「こどもの城」入館料を含む)。

お申し込み・お問い合わせは、企画研修部 ☎03-3797-5675 へ。

10月27日と11月10日に「おりがみにつよくなる講習会」

「第9回おりがみカーニバル」全国児童館おりがみ作品展が10月26日～11月17日に「こどもの城」ギャラリーで開催されます。

おりがみ作品の展示にあわせ、児童館・保育所・幼稚園などで保育や指導にあっている人、および保育者をめざして勉強中の学生、折り紙が好きな一般の人を対象に、「おりがみにつよくなる講習会」を10月27日

と11月10日に「こどもの城」研修室で開催します。講習会のテーマは、27日が「折り図でもう迷わない!～折り図の見方から折り紙製作」、10日が「折り紙装飾の手法～子どもたちと一緒にいろんな飾り付け」。

定員は、それぞれ50人。受講料は、3,500円(電話申し込み後に振り込み)。9月26日正午から先着順に電話で申し込みを受け付けします。

お申し込み・お問い合わせは、企画研修部 ☎03-3797-5675 へ。

「季節の離乳食」講習会

5か月から1歳くらいまでの赤ちゃんと保護者を対象に、子どもの発達にあわせた離乳食の考え方や与え方を旬の食材を実際に示しながら指導する「季節の離乳食」講習会。9月は26日、11月は28日に開かれます。定員は各回10組(先着順)、受講料2,000円。

詳しいことは、小児保健部 ☎03-3797-5667 へ。

「虐待とその周辺」テーマに11月9日に小児保健セミナー

第17回こどもの城小児保健セミナー「虐待とその周辺～不適切なかわり」とその対応」が、11月9日に研修室で開かれます。

虐待を見つけたときにどのように対応するかが、子育て支援の現場で

身近な問題になってきています。また、緊急の対応はしないまでも、保護者の“不適切なかわり”など気になるケースに出会うことがあります。今回は、このような場合、日常的にどのように対応し、子どもの健全な成長をはかるべきか、実践にもとづいて考えます。対象は、保育士、児童館の職員、養護教諭、医師、保健師、栄養士、ベビーシッターなど子育てを援助する立場の専門職。

セミナーの内容は、午前中が、「虐待の発見と対応」(庄司順一青山学院大学文学部教授・臨床心理士)、午後が「現場における“不適切なかわ

り」への対応(細川玲子新通保育園副園長・保育士)と「子どもや家族への援助のあり方」(木下敏子高柳病院院長・NPO日本子育てアドバイザー協会理事・小児科医)。定員は100人。先着順に受け付けしています。参加費8,000円。

お申し込み・お問い合わせは、小児保健部 ☎03-3797-5667 へ。



「おりがみにつよくなる講習会」の様子。

北九州市立 子ども館 HOW!?

こどもの城となかまたち

北九州市立子ども館 HOW!?!がオープンしました。施設面積は約5,500㎡。子どもやファミリーが楽しめる遊びの場、子育て中の親を支援する場、世代を超えて交流する場をめぐり、北九州市が児童厚生施設として整備し、委託を受けた北九州市福祉事業団が運営にあっています。

イベント広場を中心に、子育てほのぼのゾーン、わんぱくゾーン、体験・発見・挑戦ゾーン、ふれあい・交流情報ゾーンが配置されて

民間のノウハウを積極的に導入

「こどもの館 HOW!?!」は、公立の施設ですが、経営感覚をしっかりと携えながら展開していくという市の方針のもと、民間のノウハウを積極的に導入。活気あふれる「子どもの館」をめぐっています。

気軽に訪れてもらえるように入館料は無料。それぞれが気に入ったコーナーを利用するときに、利用料を支払ってもらうというシステムをとっています。各コーナーの利用料は、おむね子ども200円、大人400円。利用時間は午前10時～午後7時(子どもホール、スタジオHOW!?!などの貸館は午後10時まで。要予約)。



体験・発見・挑戦ゾーンにある「チャレンジスポーツ」

昔ふうの敷敷を自由に探検して、さまざまな不思議を体験・発見できる「ふしぎ探検」。疑似空間でサッカーなどを楽しむバーチャルスポーツ、前後左右に動き回るフラッシュ&ヒットなど4つのアイテムがある「チャレンジスポーツ」などがあります。ふれあい・交流情報

ゾーンの「子どもホール」は250人収容。親子のふれあい、世代や地域を超えた子ども同士との交流など、多様なイベントを行うことができます。自由に利用できるオープンスペースの「HOW!?!広場」には、中高生のための「みんなの空間」も用意されています。

「子どもの館 HOW!?!」は、公立の施設ですが、経営感覚をしっかりと携えながら展開していくという市の方針のもと、民間のノウハウを積極的に導入。活気あふれる「子どもの館」をめぐっています。

気軽に訪れてもらえるように入館料は無料。それぞれが気に入ったコーナーを利用するときに、利用料を支払ってもらうというシステムをとっています。各コーナーの利用料は、おむね子ども200円、大人400円。利用時間は午前10時～午後7時(子どもホール、スタジオHOW!?!などの貸館は午後10時まで。要予約)。

■北九州市立子ども館 HOW!?!
〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 COM CITY 7階 ☎093-642-5555
http://www.kodomo-how.com
E-mail: how@kodomo-how.com

トフオメーション INFORMATION
青山劇場 ☎03-3797-5678
http://www.aoyama.org

青山劇場
●石川さゆり音楽会～七夜祭～
▽9月30日～10月6日▽SS席=10,500円、S席=8,400円
(開)03-3796-9999
●名倉ジャズダンススタジオ15周年記念公演
CAN'T STOP DANCING 2002
▽10月10～13日▽S席=7,000円、SS席=6,000円 (開)03-3404-5288
●TOYOTA Presents
谷村新司 LA STORADA V 青山劇場スペシャル
▽10月26日～11月9日▽マクザンドフロア=10,000円、バルコニーシート=8,000円
(開)03-3498-9999
●鬼太鼓座
▽12月14日▽5,000円
(開)03-3201-8116

青山山形劇場
●月影十番勝負第七番「愛の嵐」
▽9月18～29日▽4,500円(当日=4,800円)
(開)03-3372-6283
●激闘! 全自動シキター
THE LAST SHOW「クラブ・オブ・アリス」
▽10月3～24日▽6,300円
(開)03-5420-4620
●トロピカルヒストリーツアー「エデンの南」
▽10月30日～11月16日▽7,000円
(開)03-3234-9999

こどもの城 全国から保育関係者90人が参加
子どもを中心に文化、生活など考える

第16回こどもの城保育セミナーが、全国から保育関係者90人が参加して、8月3～4日に研修室で開かれました。テーマは「子どもと生活・家庭と文化 PART III」。

3日は全体会。対談「家族の風景」(山崎美貴子明治学院大学副学長/

服部幸應服部栄養専門学校校長=写真)、問題提起「特色ある園作りとは」(地域ぐるみで文化をつくる=中川律子大山町立大庄保育所所長/生活を大事にする=杉山治子練馬区立光が丘第四保育園園長/感性を育てる=天野優子風の谷幼稚園園長)が

9・10月のBスタジオの催し

- 9月22・23日 不思議な映像実験室「絵がうごいて見えるおもちゃの展示とワークショップ」
11時00分～5時30分
映画やビデオのルーツである「うごいて見えるおもちゃ(視覚玩具)」を中心に、映画の仕組みを体験する展示。「くくるアニメ」作りのコーナーのほか、3種類のワークショップを行います。ワークショップの内容と時間は以下のとおりです(時間内随時受け付け)。
★「ゾマトロープ」=11時30分～12時30分
★「フィルムに絵を描こう」=1時30分～2時30分
★「はたはたアニメ」=3時30分～4時30分
- 10月13・14日 こどもの城映画劇場「カナダのアニメーション」
1時30分、1時30分、2時30分、3時30分
「ふしぎな箱」(ゲイル・トーマス監督/7分41秒)、「コスミック・ズーム」(エバ・スザ監督/8分)、「セア」(アンドレ・リュデック監督/5分17秒)

行われました。

服部校長は、400年以上も続く割烹料理の家元の家系。小さいころから料理を作り、四季ごとに日本中から食材をとりよせ、同じ食材でも地域によって色や形、味などに違いがあることを知らされました。という環境で育ち、「食」についてはさまざまな発言をしています。対談でも「食」を栄養学的な側面―エネルギーや栄養を補給する「食」―だけではなく、地域の文化・伝統、環境問題、国の安全などにも関係してることから、広い視野で考える「食育」の必要性を強調しました。

中川所長は、人形劇ボランティアへの参加、ファミリーコンサート実行委員会の体験、合唱団の立ち上げなどさまざまな活動に参加して「世の中ってこんなにもしろいんだ」ということを発見。保育をとおして子どもや保護者、地域の人々と出会



風の谷幼稚園の教育目標

は「よくたべ、よくあそび、よくねて、のどちんこをみせあおう(よくわらう)」と天野園長。食べることに焦点をあてて、感性を育てる実践を紹介。食べることは、生きること。生き物の全てがもっている本能だから、食べることは「楽しい」。幸せな気分になれる―食べられるもの探し(散歩、遠足)、自分の手で野菜を育てるなどの実践を紹介しました。

もできます。こうたいで、山手線や新幹線などを走らせて遊ぶほか、「マイNゲージ」を持ってきて走らせることもできます。

また、幼児向けに「ブラレール」で遊ぶコーナーもあり、たくさん線の路をつないで遊ぶこともできます。時間は、平日が午後1時～5時、土・日曜日・祝日が午前11時～5時(最終日の20日は4時まで)。